

# ■保健機能食品学 正誤表

平成30年4月発行

該当箇所	誤	正	備考																																		
p25	成27年4月から機能性表示食品制度を発足した	平成27年4月から機能性表示食品制度が発足した。	下から2行																																		
p27	イソマルトオリゴ糖) が対象になっている。	イソマルトオリゴ糖) および「糖の吸収をおだやかにする」の表示ができる難消化性デキストリンが対象になっている(表6)。	上から8行																																		
p28	ビタミン12種類 ミネラル5種類	ビタミン等14種類 ミネラル6種類	下から11行目																																		
p28	表示をするもの(生鮮食品(鶏卵を除く)を除く。)をいう。	表示をするものをいう。	下から13行~15行																																		
p29	厚生労働省が認可していると権威付けをしている食品が時々見かけられる。この商品の大きな目的は厚生労働省が規定する栄養機能食品としてのビタミンを含む食品とい	消費者庁が認可していると権威付けをしている食品が時々見かけられる。この商品の大きな目的は消費者庁が規定する栄養機能食品としてのビタミンを含む食品とい	下から11行																																		
p30	もこうした食品として販売されている健康効果を連想させるようになっている。	も表示が許可されている栄養機能ではなくこうした食品として販売されている健康効果を連想させるようになっている。	下から23行																																		
p45	コレカルシフェロール (D <sub>2</sub> ) エルゴカルシフェロール (D <sub>3</sub> )	コレカルシフェロール (D <sub>3</sub> ) エルゴカルシフェロール (D <sub>2</sub> )	表1																																		
p47	ヘスペリン	ヘスペリジン	3行目																																		
p49	ビタミン12種類 ミネラル5種類	ビタミン等14種類 ミネラル6種類	栄養食品とはの項目3行目																																		
p60	グコシルセラミド	グルコシルセラミド	下から6行目																																		
p74	チロソロール	チロソール	食品成分名 下から4行目																																		
p76	アンキノ誘導体	アントラキノ誘導体	ハブ茶の項目																																		
p90	長鎖中性脂肪	中性脂肪	表の膝液の基質欄																																		
p105	イコサペンタエン酸	イコサペンタエン酸	□枠内																																		
p105	アラキドン酸 (C18:4)	アラキドン酸 (C20:4)	図20□枠内																																		
p105	ドコサペンタエン酸 (C18:4)	ドコサペンタエン酸 (C22:4)	図20□枠内																																		
p105	ドコサヘキサエン酸 (DHA, C18:5)	ドコサヘキサエン酸 (DHA, C22:6)	図20□枠内																																		
p107	CMのTGがLPLで分解されたもの	CMのTGがLPLで分解され失われる過程のもの	表1内CMRの行																																		
p107	CMのTGがLPLで分解されたもの	VLDLのTGがLPLで分解され失われる過程のもの	表1内IDLの行																																		
p107	キロミクロン	カイロミクロン	表下文、上から1、3行目																																		
p107	キロミクロンレムナント	カイロミクロンレムナント	表下文、上から5行目																																		
p112	非必須アミノ酸	非必須アミノ酸	表																																		
p115	Iie	Ile	下から2行目																																		
p119	リン酸イオン	リン酸水素イオン	上から7行目																																		
p121	Basa lMetabolism	Basal Metabolism	上から11行目																																		
p125	目的とする。	目的とする。	(2)栄養素の指標の項の①~③																																		
p128	保健機能が認められて	保健機能表示が認められて	下から15行目																																		
p129	(日本薬局収載)	(日本薬局方収載)	上から2行目																																		
p129	阻止しするが	阻止するが	上から8行目																																		
p129	医薬品医療機器法の第2条1-3項の	医薬品医療機器等法の第2条第2号又は3号の	下から3行目																																		
p136	小腸であると	小腸であることが	下から2行目																																		
p137	P-糖蛋白質	P-糖たんぱく質	上から5行目																																		
p137	<table border="1"> <caption>表5 微量金属(ミネラル)で吸収が低下する可能性のある医薬品</caption> <thead> <tr> <th>微量金属</th> <th>医薬品分類</th> <th>医薬品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>カルシウム</td> <td>ビスホスホネート剤</td> <td>エチドロン酸ナトリウム</td> </tr> <tr> <td>マグネシウム</td> <td>(骨粗鬆症)</td> <td>アレンドロン酸ナトリウム</td> </tr> <tr> <td>鉄</td> <td>テトラサイクリン系抗生物質</td> <td>テトラサイクリン、ミノサイクリン</td> </tr> <tr> <td>亜鉛</td> <td>ニューキノロン系合成抗菌薬</td> <td>エノキサシン、オフロキサシン</td> </tr> <tr> <td>アルミニウム</td> <td>抗リウマチ薬</td> <td>ベニシラミン</td> </tr> </tbody> </table>	微量金属	医薬品分類	医薬品	カルシウム	ビスホスホネート剤	エチドロン酸ナトリウム	マグネシウム	(骨粗鬆症)	アレンドロン酸ナトリウム	鉄	テトラサイクリン系抗生物質	テトラサイクリン、ミノサイクリン	亜鉛	ニューキノロン系合成抗菌薬	エノキサシン、オフロキサシン	アルミニウム	抗リウマチ薬	ベニシラミン	<table border="1"> <caption>表5 微量金属(ミネラル)で吸収が低下する可能性のある医薬品</caption> <thead> <tr> <th>医薬品分類</th> <th>医薬品</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ビスホスホネート剤(骨粗鬆症)</td> <td>エチドロン酸ナトリウム アレンドロン酸ナトリウム</td> </tr> <tr> <td>テトラサイクリン系抗生物質</td> <td>テトラサイクリン、ミノサイクリン</td> </tr> <tr> <td>ニューキノロン系合成抗菌薬</td> <td>シプロキサシン、オフロキサシン、ノフロキサシン</td> </tr> <tr> <td>抗リウマチ薬</td> <td>ベニシラミン</td> </tr> <tr> <td>セフェム系抗生物質</td> <td>セフジニル</td> </tr> <tr> <td>甲状腺ホルモン</td> <td>レボチロキシシン、リチオロン</td> </tr> <tr> <td>止血薬</td> <td>タンニン酸アルブミン</td> </tr> </tbody> </table>	医薬品分類	医薬品	ビスホスホネート剤(骨粗鬆症)	エチドロン酸ナトリウム アレンドロン酸ナトリウム	テトラサイクリン系抗生物質	テトラサイクリン、ミノサイクリン	ニューキノロン系合成抗菌薬	シプロキサシン、オフロキサシン、ノフロキサシン	抗リウマチ薬	ベニシラミン	セフェム系抗生物質	セフジニル	甲状腺ホルモン	レボチロキシシン、リチオロン	止血薬	タンニン酸アルブミン	表5
微量金属	医薬品分類	医薬品																																			
カルシウム	ビスホスホネート剤	エチドロン酸ナトリウム																																			
マグネシウム	(骨粗鬆症)	アレンドロン酸ナトリウム																																			
鉄	テトラサイクリン系抗生物質	テトラサイクリン、ミノサイクリン																																			
亜鉛	ニューキノロン系合成抗菌薬	エノキサシン、オフロキサシン																																			
アルミニウム	抗リウマチ薬	ベニシラミン																																			
医薬品分類	医薬品																																				
ビスホスホネート剤(骨粗鬆症)	エチドロン酸ナトリウム アレンドロン酸ナトリウム																																				
テトラサイクリン系抗生物質	テトラサイクリン、ミノサイクリン																																				
ニューキノロン系合成抗菌薬	シプロキサシン、オフロキサシン、ノフロキサシン																																				
抗リウマチ薬	ベニシラミン																																				
セフェム系抗生物質	セフジニル																																				
甲状腺ホルモン	レボチロキシシン、リチオロン																																				
止血薬	タンニン酸アルブミン																																				
p138	治療に効果が	治療効果が	下から17行目																																		
p139	P-糖蛋白質	P-糖たんぱく質	上から1行目																																		
p139	C N -	-CN	表6																																		
p141	タバコの煙の多環香族炭化酵素	タバコの煙の多環香族炭化水素	下から7行目																																		
p142	テオフィリン	フェナセチン	上から7行目																																		
p145	グルコバイ	アカルボース (グルコバイ)	表10医薬品の欄																																		
p145	ベイスン	ボグリボース (ベイスン)	表10医薬品の欄																																		
p145		ミグリトール (セイブル)	グァバ葉ポリフェノールの医薬品の欄ボグリボース (ベイスン) の後に追加																																		
p145	セタブリル	アラセブリル	表10医薬品の欄																																		
p145	レボドバ	レボドバ	下から5行目																																		

該当箇所	誤	正	備考																																																											
p147	トリブタミド	トルブタミド	下から9行目																																																											
p149	「ヒスチジン中毒症」	「ヒスタミン中毒症」	到達目標																																																											
p152	ヒスチジンを多く含む魚の機序ヒスタミンおの分解抑制	ヒスタミンの分解抑制	表13																																																											
p153	ドコサヘキサエン酸 (D H C)	ドコサヘキサエン酸 (D H A)	表13																																																											
p158	到達目標 1)、2)、・・・	▶印に変更																																																												
p162	「健常群」の文字位置が不適	左端の大きな実線波形内へ「健常群」の文字を移動させる	図3																																																											
p164	HbA1c (NGSP) 5.6%以上	HbA1c (NGSP値) 5.6%以上	下から3行目																																																											
p164	到達目標 1)、2)、・・・	▶印に変更																																																												
p170	正常範囲、g/dl, mg/dl	正常参考値、g/dL, mg/dL	表7																																																											
p173	表9に示すような	表10に示すような	下から9行目																																																											
p175	到達目標 1)、2)、・・・	▶印に変更																																																												
p175	代謝系疾患、循環器系疾患、脳卒中、腎疾患、肝疾患、血液疾患等の代表的疾患について病態等を説明できる。	代謝系疾患、循環器疾患、脳血管疾患、腎疾患、肝疾患、血液疾患、胃腸疾患、胆嚢・膵臓疾患、アレルギー、がん、筋疾患、嚥下障害、褥瘡について病態等を説明できる。	到達目標																																																											
p180	表16中の「増加する脂質」	「増加するリポ蛋白と脂質」に変更	表16																																																											
p182	・・積極的に摂取する。病名から・・・	・・積極的に摂取する。病名から・・・	下から8行目																																																											
p182	・・・高TGの場合・・・	・・・高TG血症の場合・・・	下から5行目																																																											
p188	図11, 電気的刺激の伝わり方、右脚・左足、プルキンエ繊維	右脚・左脚、プルキンエ線維	図11																																																											
p194	図15、図中文章「図5心筋梗塞発症後の心筋マーカーの変動」	図中の「図5心筋梗塞発症後の心筋マーカーの変動」を削除	図15																																																											
p199	(3)ラクナ梗塞・・・起こる直径15mm未満の小さな梗塞であるため・・・	・・・起こる直径15mm未満の小さな梗塞巣であるため・・・	下から16行目																																																											
p202	・・・関与する。腎臓に約100万個のネフロン・・・	・・・関与する。1ヶの腎臓に約100万個のネフロン・・・	上から5行目																																																											
p203	血液検査：・・・血清Ca↓、血清(アルブミン)蛋白↓、尿蛋白・・・	・・・血清Ca↓、血清蛋白(アルブミン)↓、尿蛋白・・・	表21																																																											
p206	Ccre (mL/分) = Ucre (mg/dL) × V (mL/日) / Scre (mg/dL) × 1440分/日	Ccre (mL/分) = Ucre (mg/dL) × V (mL/日) / (Scre (mg/dL) × 1440分/日)	上から12行目																																																											
p207	下痢や嘔吐によるNa喪失、	削除	下から20行目																																																											
p207	陽イオンと陰イオンの総和は等しく・・・	血漿中の陽イオン数と陰イオン数は等しく・・・	下から15行目																																																											
p208	高Ca血症は、悪性腫瘍(局所の骨溶解、PTH様蛋白の・・・	高Ca血症は、悪性腫瘍(局所の骨融解、PTH様蛋白の・・・	下から15行目																																																											
p212	・・・毒物代謝などを司る、また、外来侵入微生物に対して免疫機能を担う免疫グロブリンの生成、止血に関わる凝固因子の生成、骨の・・・	「外来侵入微生物に対して免疫機能を担う免疫グロブリンの生成」を削除	下から18行目																																																											
p212	肝疾患発見の臨床検査として表26に示すように・・・	肝疾患発見の臨床検査として表27に示すように・・・	下から2行目																																																											
p217	・・・高度の線維化を伴い、肝臓は固く小さくなる。・・・	・・・高度の線維化を伴い、肝臓は硬く小さくなる。・・・	上から3行目																																																											
p218	・・・生後1週間後に認められる新生児黄疸では・・・	・・・生後1週間前後に出現する新生児黄疸では・・・	下から17行目																																																											
p218	<p>表29 Child-Pughの分類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価項目</th> <th>A(1点)</th> <th>B(2点)</th> <th>C(3点)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>血清ビリルビン(mg/dl)</td> <td>20&gt;</td> <td>20~30</td> <td>30&lt;</td> </tr> <tr> <td>血清アルブミン(g/dl)</td> <td>35&lt;</td> <td>30~35</td> <td>30&gt;</td> </tr> <tr> <td>腹水</td> <td>なし</td> <td>コントロール可能</td> <td>コントロール困難</td> </tr> <tr> <td>プロトロンビン時間</td> <td>80%&lt;</td> <td>50%~80%</td> <td>50%&gt;</td> </tr> <tr> <td>昏睡度</td> <td>なし</td> <td>軽度(I~II)</td> <td>重度(III~IV)</td> </tr> <tr> <td>総合評価</td> <td>A: 5~6点</td> <td>B: 7~9点</td> <td>C: 10~15点</td> </tr> </tbody> </table>	評価項目	A(1点)	B(2点)	C(3点)	血清ビリルビン(mg/dl)	20>	20~30	30<	血清アルブミン(g/dl)	35<	30~35	30>	腹水	なし	コントロール可能	コントロール困難	プロトロンビン時間	80%<	50%~80%	50%>	昏睡度	なし	軽度(I~II)	重度(III~IV)	総合評価	A: 5~6点	B: 7~9点	C: 10~15点	<p>表29 Child-Pugh分類</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">スコア</th> </tr> <tr> <th>1点</th> <th>2点</th> <th>3点</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>肝性脳症</td> <td>なし</td> <td>軽度(I~II)</td> <td>中等度(III以上)</td> </tr> <tr> <td>腹水</td> <td>なし</td> <td>軽度</td> <td>中等度以上</td> </tr> <tr> <td>血清ALB(g/dL)</td> <td>35超</td> <td>28~35</td> <td>28未満</td> </tr> <tr> <td>血清TB(mg/dL)</td> <td>20未満</td> <td>20~30</td> <td>30超</td> </tr> <tr> <td>PT時間(%)</td> <td>70超</td> <td>40~70</td> <td>40未満</td> </tr> <tr> <td colspan="4">Child重症度 A: 5~6点、B: 7~9点、C: 10~15点</td> </tr> </tbody> </table>		スコア			1点	2点	3点	肝性脳症	なし	軽度(I~II)	中等度(III以上)	腹水	なし	軽度	中等度以上	血清ALB(g/dL)	35超	28~35	28未満	血清TB(mg/dL)	20未満	20~30	30超	PT時間(%)	70超	40~70	40未満	Child重症度 A: 5~6点、B: 7~9点、C: 10~15点				表29は差替え
評価項目	A(1点)	B(2点)	C(3点)																																																											
血清ビリルビン(mg/dl)	20>	20~30	30<																																																											
血清アルブミン(g/dl)	35<	30~35	30>																																																											
腹水	なし	コントロール可能	コントロール困難																																																											
プロトロンビン時間	80%<	50%~80%	50%>																																																											
昏睡度	なし	軽度(I~II)	重度(III~IV)																																																											
総合評価	A: 5~6点	B: 7~9点	C: 10~15点																																																											
	スコア																																																													
	1点	2点	3点																																																											
肝性脳症	なし	軽度(I~II)	中等度(III以上)																																																											
腹水	なし	軽度	中等度以上																																																											
血清ALB(g/dL)	35超	28~35	28未満																																																											
血清TB(mg/dL)	20未満	20~30	30超																																																											
PT時間(%)	70超	40~70	40未満																																																											
Child重症度 A: 5~6点、B: 7~9点、C: 10~15点																																																														
p222	X III	X III→XIII	図20																																																											
p223	表30中の因子：X I、X II、X III	X I→XI、X II→XII、X III→XIII	表30																																																											
p224	・・・先天性としては常染色体劣性遺伝によるFanconi貧血・・・	・・・先天性としては常染色体劣性遺伝によるFanconi貧血・・・	下から11行目																																																											
p225	遺伝子変異によって出現した・・・	後天的な遺伝子変異によって出現した・・・	上から1行目																																																											
p225	胃粘膜萎縮による内因子や・・・	胃粘膜萎縮による内因子や・・・	下から17行目																																																											
p226	・・・共用基準範囲一覧(章末・表36参照)では・・・	・・・共用基準範囲一覧(章末・表37参照)では・・・	下から14行目																																																											
p248	症例対象研究	症例対照研究	表の冒頭																																																											
p265	クサウラベニタメ	クサウラベニタケ	表																																																											
p277	5) 加工食品の原料原産地名表示 以降を削除	「従来、一部の加工食品にのみ義務付けられていた原料原産地表示が、すべての加工食品に対し義務付けられることとなった。」を追加	2行目以降																																																											
p293	残留動物医薬品	残留動物用医薬品	3.3)																																																											
p299	各付	格付	6). 7). 8)																																																											
p299	各付	格付	JAS法の欄5行目																																																											
p312	公益性のは問わない(下から6行目)	公益性は問わない	消費者安全法																																																											

追加日	該当箇所	誤	正
平成30年9月26日	P47	人体構成成分のうち、炭素、水素、酵素、窒素以外	人体構成成分のうち、炭素、水素、酸素、窒
	P150 1行目	リチオロニンナトリウム	リチオロニンナトリウム

## ■保健機能食品学 正誤表

令和3年6月追加

該当箇所	誤	正	備考
p146	AUCの増大	AUCの減少	表12相互作用の欄

令和4年1月追加

該当箇所	誤	正	備考
p77	イソフラボンミエロステロール	イソフラボンのミロエストロール	「民間で使用されている健康食品一覧」の表 プエラリア・ミリフィカの備考